

**議題1**

**平成26年度 決算について**

**1 決算の概要**

- ・ 総額・・・歳入、歳出ともに1,048億円
- ・ 実質的な収支・・・約20億円の赤字  
 (A) 歳入：約929億円（法定外繰入金(収支不足分)を除く）  
 保険料の収納増に加えて、法定繰入金（基盤安定繰入金）などが増加し、昨年度より約10億円増加。  
 歳出：約949億円（繰上充用金を除く）  
 主に保険給付費の増加により、昨年度より約10億円増加。
- ・ 単年度収支・・・約14億円の黒字  
 (B) 実質的な収支の不足分と累積赤字の削減のために、一般会計から約34億円の法定外繰入(収支不足分) (C) を実施。
- ・ 累積赤字・・・約85億円  
 (D) 前年度の約99億円から、単年度収支の約14億円 (B) の減となり、H27年度予算から繰上充用により決算処理を行った。

※ 実質的な収支・・・法定外繰入金（収支不足分）を除く歳入と、繰上充用金を除く歳出を比較したもの  
 単年度収支・・・累積赤字を除く歳入と、繰上充用金を除く歳出を比較したもの

**2 歳入歳出の状況**

(1) 歳入の状況

(単位：億円)

区 分	25年度決算 (A)	26年度決算 (B)	増減 (B)-(A)
国民健康保険料	223.1	225.3	2.3
国庫・県支出金等	649.4	650.4	1.1
うち前期高齢者交付金	261.9	262.8	0.9
うち共同事業交付金	90.5	94.4	3.9
一般会計繰入金	81.5	84.2	2.8
うち法定外繰入金(収支不足分)	36.8	34.3	△ 2.5
その他収入	2.3	3.6	1.3
H27からの繰上充用金	98.9	84.7	△ 14.2
合 計	1,055.2	1,048.3	△ 6.8
繰上充用金を除く合計	956.3	963.6	7.4
法定外繰入金(収支不足分)を除く合計	919.4	929.3	9.9

- ・ 保険料の増  
 保険料改定及び収納率の向上（2.3ポイント向上）〔2.3億円〕
- ・ 一般会計繰入金の増  
 法定繰入金の増（基盤安定繰入金の保険料軽減の対象拡大による増）〔5.4億円〕
- ・ 国庫支出金の減  
 東日本大震災による医療費の増加に対する財政調整交付金の減 〔△7.5億円〕

(2) 歳出の状況

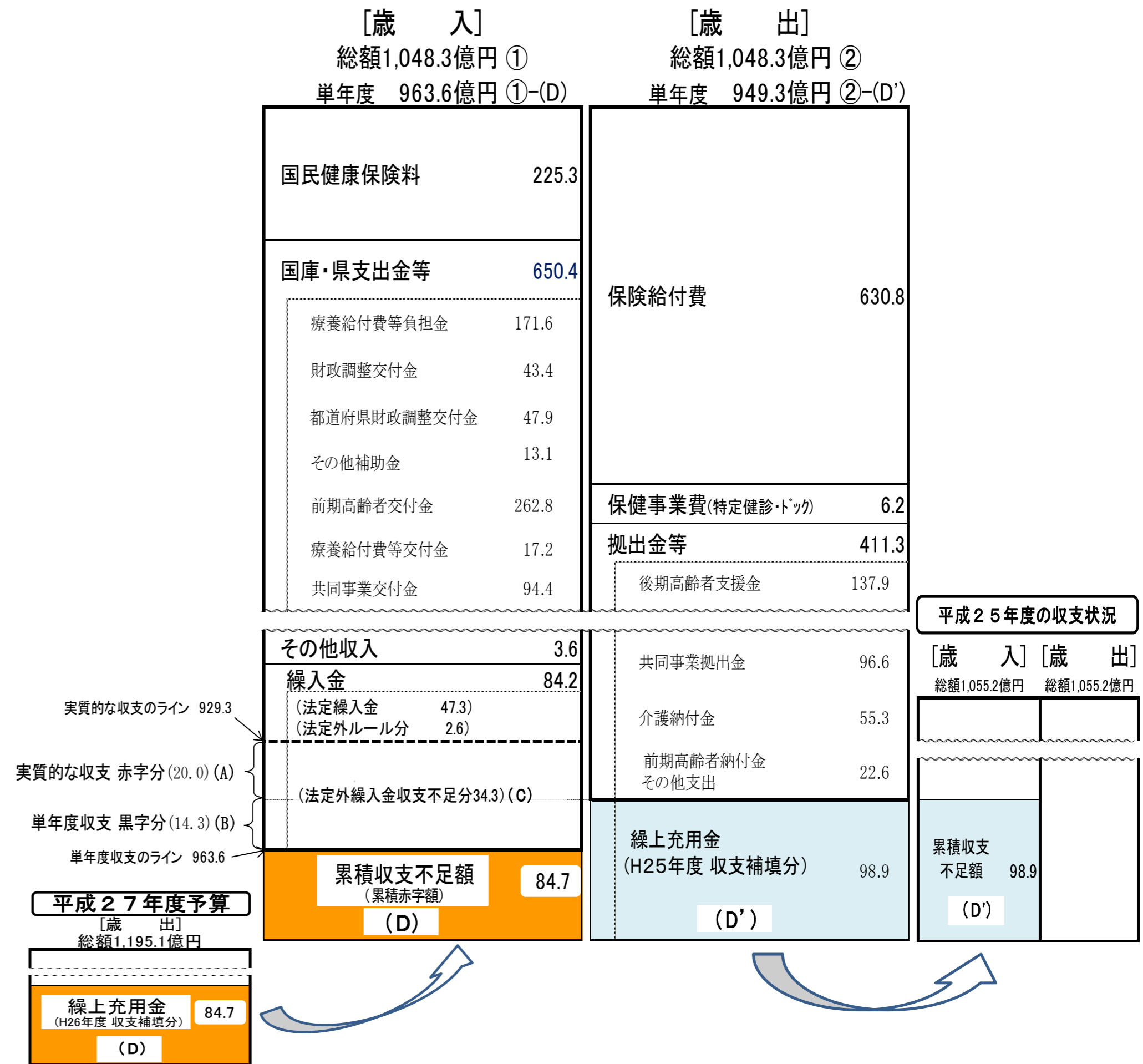
(単位：億円)

区 分	25年度決算 (A)	26年度決算 (B)	増減 (B)-(A)
保険給付費	622.0	630.8	8.8
保健事業	6.0	6.2	0.2
拠出金等	427.2	411.3	△ 15.9
うち後期高齢者支援金	139.5	137.9	△ 1.6
うち共同事業拠出金	92.1	96.6	4.5
合 計	1,055.2	1,048.3	△ 6.9
繰上充用金を除く合計	938.9	949.3	10.4

- ・ 保険給付費の増  
 高齢化などによる医療費の増加 〔8.8億円〕
- ・ 後期高齢者支援金の減  
 被保険者数の減による 〔△1.6億円〕

**平成26年度の収支状況**

(単位：億円)



**3 収支の推移**

(単位：億円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
実質的な収支 (A)	△ 36.0	△ 55.2	△ 56.8	△ 44.3	△ 32.2	△ 17.7	△ 19.5	△ 20.0
法定外繰入金 (C) (収支不足分)	33.4	39.4	0.0	0.0	33.8	19.4	36.8	34.3
単年度収支 (B) (B)=(A)+(C)	△ 2.7	△ 15.8	△ 56.8	△ 44.3	1.5	1.7	17.3	14.3
繰上充用額 (D) (累積収支不足額)	△ 2.7	△ 18.5	△ 75.2	△ 119.5	△ 118.0	△ 116.3	△ 98.9	△ 84.7